

【学校教育目標】 豊かな心を持ち、夢の実現に向かって自律的に活動する久里の子の育成

～ 元気・笑顔・思いやりがあらわれる学校 ～



久里の子

唐津市立久里小学校 学校だより

R 7 年 6 月 1 1 日号

文責： 渡辺 謙 学校HP →



唐津市教育の日 授業参観及び支部育友会への参加ありがとうございました

日曜日は、たくさんの保護者及び地域の皆様にご来校いただきました。幸い、雨も降らず運動場がぬかるむこともなくよかったなと思っております。

授業参観では、子供たちの学習の様子や発表の様子を見ていただきました。たくさんの人の目があることで、日頃に比べると緊張気味の様子でしたが、考えたり、自分の意見を伝えたり、話を聞いたり、ノートに記述したりする、学習の状況が、伝わったのではないかと思います。どうぞこれからも、お子様の学習の状況について、ノートやプリントを見ていただきながらご理解いただければと思った次第です。

支部育友会では、初めて多くの保護者の皆様と顔を合わせることができました。私がお願いしたのは

- ① 学校と足並みをそろえて子育てをしていただきたい
- ② 子供が家に持ち帰った宿題、連絡帳、お便りに目を通していただきたい

この2点です。学校と保護者の皆様とが、いわゆる「ツーカー」の中になっていくことほど、効果のあることはありません（「ツーカー」とは、互いに意思疎通が非常に良好で、少しの言葉や行動だけで理解し合えるような関係性を指す言葉です。まるで「つうと言えばかあ」と答えるように、スムーズにコミュニケーションが取れる状態を意味します。 Google AI による）

今後も、学校と「ツーカー」の仲になっていただきますようお願いいたします。



佐賀県PTA連合会 定期総会 が行われました

6月7日（土）に、佐賀市において佐賀県PTA連合定期総会が行われ出席して参りました。6年度の事業報告と決算報告の後、令和7年度の「基本方針・努力目標」が審議され、可決されました。

本年度の基本方針は「親が親になるために、先生が先生になるために」です。以下に方針文の抜粋を掲載します。

教育の根底にあるのはあくまで家庭でありその第一責任は親(保護者)にあります。家庭教育こそが、すべての教育の出発点であり家族のふれ合いを通して、子供に、基本的な生活習慣を身に着けさせること、更に倫理観や道徳観などを身につけさせる上で重要な役割を果たしています。家庭教育の学びを基本とし、学校教育で豊かな個性と社会性の発達の手助けとなることを学ぶことが本来のあるべき姿ではないでしょうか。

「親が親になるために、先生が先生になるために」PTA活動を通して今一度、家庭教育・学校教育の役割を双方が理解し、お互いに学び合い、お互いに譲り合い、お互いに助け合い、お互いの立場を考え尊重するという日本人が古くから大切にしてきた「お互い」からできている互譲互助の精神(和の精神)を子供たちに伝えていく必要性を感じてもらえる「こころ」の醸成が、すべての保護者、先生方に必要なのです。一人の親として、一人の先生として共に協働を図りながら明るく豊かな社会の創造に向け、それぞれの適切な役割を果たしていくことが未来への新たな扉を開いていくことにつながると信じて力強く活動してまいります。

家庭も学校も「子供」を中心に据え、子供を通して多くの経験をしながら、「親」となり「先生」となっていきます。

お互いの役割を認識しつつ、協力し合いながら共に子育てをしていけるとよいと思います。PTAの掲げる方針は、そういう意味においてとても価値のあるものであると思います。



プール掃除

6月3日、5年生、6年生ががんばってくれました。

キレイになったプールでいよいよ今週から水泳学習が始まります。安全に気をつけて実施いたします。ご家庭での健康観察もお願いします。